

基本情報						
教科・科目	高3・数学C 理系基礎		・授業で使用するもの 数学C Standard(東京書籍) ベーシックスタイル数学演習IIC			
担当者	高山					
評価割合(試験:試験外)	試験:6 試験外:4		試験は、単元目標および＜知技、思判表、主体＞の3観点に沿って出題する。			
年間を通じて教科で培う力	鍛錬(知識及び技能)		・数と式、図形、関数、データの分析、論理と集合等に関する定義・定理を含めた論理体系を理解し、適切な範囲で正確に使用して計算や処理ができる力 ・図やグラフを用いて、関数・方程式や不等式と領域、数列、ベクトル等の性質を視覚的に表現できる力			
	理知(思考力・判断力・表現力等)		・定理や公式の導出過程や計算手順の意味を整理し、問題の背景や根拠を理論的かつ明確に説明できる力 ・解答に至るまでの過程を数式や図を組み合わせて示し、考え方をわかりやすく表現できる力 ・与えられた条件から必要な理論を選び適切な方法を選択できる力、誘導形式の間から思考の方向性を見通す力			
	探究・叡智(主体的に学習に取り組む態度)		・初見問題や融合問題に対して、条件を整理し、解法の筋道を論理的に立てて取り組むもうとする力 ・他者と解法と比較・共有する中で、新たな視点を自らの学習に取り入れることができる力 ・解けなかった問題について原因を分析し、次に取り組む課題を自ら設定できる。また、その課題に対して粘り強く試行錯誤しながら取り組むことができる力			
学習情報						
月	回	単元名	単元目標(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4 5		複素数平面	・複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積および商の図形的な意味を理解している。 ・複素数平面における図形の移動と関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を理解すること。	□複素数平面 ～複素数の実数倍は延長・縮小、では和・差は？～ □複素数の極形式 ～複素数の虚数倍、複素数の積は？～ □ド・モアブルの定理 □2直線のなす角 □複素数平面上の図形	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取組 ・グループでの取組 ・小テスト
6	定期試験① 令和7年 6月2日―6月4日 範囲)					
6		複素数平面の補充	同上	同上	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取組 ・グループでの取組 ・小テスト
7		共通テスト及び入試問題対策 関数	関数に関して数学の体系的な理解をしている。	□2次関数、分数関数、無理関数のグラフ □極限 □微分・積分	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取組 ・グループでの取組 ・小テスト
7	定期試験② 令和7年 7月9日―7月11日 範囲)					
9		共通テスト及び入試問題対策 確率・統計	確率、統計に関して数学の体系的な理解をしている。	□場合の数と確率 □データの分析 □統計的な推測	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取組 ・グループでの取組 ・小テスト
10		共通テスト及び入試問題対策 幾何、図形	幾何、図形に関して数学の体系的な理解をしている。	□三角比と三角関数 □図形と計量 □図形と方程式 □ベクトル □複素数平面	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取組 ・グループでの取組 ・小テスト
11 12 1		共通テスト及び入試問題対策 関数	数学の体系的な理解をしている。	□命題証明形式 □会話文形式 □分析形式 □CT形式 □実用形式	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取組 ・グループでの取組 ・小テスト